



国際教育

第1号

千葉大学国際教育センター

2007年 3月

国際教育

第1号 (2007年3月)

目次

見城 悌治	現代中国における日本語専攻大学生の「日本」イメージ	1
新倉 涼子	異文化資質に関する一考察	21
和田 健	経験をもとにして「話すこと」「聞くこと」そして「書くこと」 — 日本事情で扱う時事問題と座談の効果について —	29
見城 悌治	留学生と日本人家庭の継続的交流をめぐる現状と課題	47
佐藤 尚子 東田 喜輔	千葉大学における日韓共同理工系学部留学生事業修了生に 関する調査報告 — 1期生～3期生を対象として —	67
吉野 文	国際教育センターにおける日本語支援室の活動	79
	『千葉大学留学生センター紀要』、『人文と教育』 総目次	87
	『国際教育』投稿規定	92
	執筆者一覧	93
	編集後記	94

【編集後記】

『国際教育』は、2006年4月に発足した千葉大学「国際教育センター」の研究紀要である。

「国際教育センター」の歴史は、1991年に設立された「留学生センター」に始まる。この「留学生センター」は、2004年に「外国語センター」と合併し、「国際教育開発センター」となった。しかし、2006年からは、留学生教育などを主に担う部局としての「国際教育センター」と、外国語教育などを主に担う部局としての「言語教育センター」に分かれ、再出発することになった（なお、留学生センターおよび国際教育開発センターが発行していた紀要掲載論文については、本号に、「総目次」として付載しているので、参照されたい）。

本「国際教育センター」は、留学生に対する日本語教育、日本事情教育（日本人学生との混在授業）、生活支援・相談業務、留学生と日本人学生・地域社会との交流コーディネート、短期留学生の受け入れや教育のコーディネート、海外協定校への日本人学生派遣などを、現在担っている。「留学生センター」時代に比べると、日本人学生をも対象にした国際交流教育に意を払う面が増しているなど、業務範囲が拡大し、新紀要の題名とした『国際教育』の名にかなう方向へ歩みを続けている。

創刊号となる本紀要には、国際教育センターのこうした実践の中から生み出された6本の成果を掲載することを得た。今後も、本紀要では、教員たちの研究論文・実践報告などを漸次掲載していきたいと考えるので、各位の忌憚なきご意見ご批判をお寄せいただけるようお願いしたい。

国際教育 第1号

2007年3月31日 発行

編集・発行：千葉大学 国際教育センター
〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33
TEL 043-290-2197